

事業者向け 平成 30 年度放課後等デイサービス自己評価表

—		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1	0	適切である。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	5	0	マンツーマンで関わる利用者が多いため、職員増の要望はあるが、配置数としては必要以上の配置となっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3	0	全館バリアフリーとなっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	2	児発管メインで動くこともある為、今後は職員それぞれが意識して参画していくようにする。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1	0	H30 年 1 月に、保護者向け評価表を用いたアンケートを実施し、改善点を協議した。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5	2	以前行ったことがあり、資質向上の為、今後も検討していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	3	0	職員全体での研修の他、県主催の研修等に職員を派遣している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	アセスメント、個別支援計画会議を経て、適切に計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	5	0	年 1 回、プロフィールの更新と共に、共通のアセスメント用紙を使用し、子どもたちの状況を図っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	4	1	ミーティングの時間を多く割くことが出来ず、全員一緒に立案することが難しい。情報の共有を徹底していく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	6	0	その日の担当が最近の対象児の様子を加味しながら、活動を立案している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	6	0	利用時間を加味し、長期休暇でしか行えない活動を設定することがある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	3	0	その子その子のニーズに合わせて、計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	4	1	活動準備や早い時間からの支援等で、打ち合わせを行うことの出来ない日もある。参加出来ない職員には後から伝える等、情報共有を徹底する。

⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3	3	活動記録の記入や居残り児の対応で、支援終了後の打ち合わせは難しい。記録記入時、職員同士で情報の共有を徹底していく。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1	0	適切に行っている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	適切に行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	5	0	既にガイドライン内基本活動のア、イ、エを組み合わせ、支援を行っている。ガイドラインの内容についての周知も行っていきたい。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2	0	児発管やその子をよく担当する職員が参加するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	0	0	送迎時に口頭で情報交換を行う他、必要に応じてケース検討会議、連携会議を行うなど、密に連携を取っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	3	0	当事業所の看護師が、必要に応じて主治医と連絡を取る体制を構築している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3	0	情報共有と相互理解については、子どもによってばらつきがある。今後こちらから連絡して情報共有等に努めていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2	1	直接事業所に提供する場合と、相談支援事業所を経由する場合とがある。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	0	年1回の派遣研修の他、センター主催の研修に職員を派遣する等、積極的に行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	7	地域の公園で近隣の子どもたちと関わる事はあるが、活動を設定して行うことは難しい。必要に応じて機会を検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	2	園長、児発管が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1	0	連絡帳への記載の他、送迎時に口頭で子どもの状況について確認している。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3	1	必要に応じて行っているが、要望はあまり見られない。当事業所主催のセミナーの案内も配布している。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2	0	契約前に説明しており、必要に応じて保護者の質問にもお答えしている。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	職員が相談に応じる他、医師、心理職が相談に対応する共育相談を年10回程度開催し、保護者にも案内を出している。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	3	保護者会はお互いの負担増加も踏まえ開催していないが、保護者からの要望があれば検討する。ペアレントメンター事業の茶話会を開催しており、交流の場は提供している。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	重要事項説明書に記載しており、苦情があった場合はすぐに情報を共有し、解決、改善に努めている。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	今年度より会報を年4回発行し、保護者に配布している他、玄関に掲示している。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	6	2	0	研修等も行ない、十分に注意している。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	その子、保護者に合わせた配慮を行っている。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	1	併設された就労事業所で、地域に開かれたイベントを行い、そのイベントに参加することがある。
	非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4	1
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	併設の就労事業所と合同で、定期的に訓練を行っている。
㉛		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	5	0	園内研修等で、虐待防止について全体で確認していく。
㉜		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	2	保護者との口頭での確認のみのため、理解を得た上で、個別支援計画に記載していく。
㉝		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	1	保護者からの情報を基に、対応している。
㉞		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	0	事例について職員間で情報共有を行った後、ヒヤリハット専用のファイルに記載し、いつでも閲覧可能な状態にしている。